

## 八ヶ岳東面 川俣川東沢地獄谷本谷・天狗尾根

近年の台風や長雨により、沢が荒れていることが予想される。また感染症対策のため、なるべく人がいない所を選んで1泊2日の山行に行ってきました。

美しの森駐車場は、6時前に関わらず20台ほどの車。幸い大多数は真教寺尾根だろう。東沢に入る人は数人。2日間含めても出会った人は10人程度の静かな山域だ。

### 1日目

美しの森駐車場 5:50～出会小屋 8:00 (8:50 発)～30M 滝高巻き 9:40～二俣 10:35～キレット小屋 12:00 (12:20 発)～ツルネ～出会小屋 (泊地) 14:20

林道を進むと、途中の小さな沢が崩れており、近年の大雨の影響がよくわかる。案の定、堰堤をこえ、沢の渡渉を繰り返すところは荒れており、道も途切れ途切れ。前日までの雨の影響で水量も多い。幸い新しいペナントが付いており助かる。途中、沢靴に履き替え出会の小屋まで歩く。いつもの所にタープを張り、用意をしてから本谷の遡行に入る。

ツルネ東稜取付きまでの道も荒れているが、沢靴なので渡渉に苦労しない。本谷の下半部は荒れているが、天狗沢を越えると、以前(2015年)より綺麗な印象。大水で流されたのか。左俣との二俣もあまり倒木が無い。本谷の遡行を続け、ゴルジュとナメ滝帯は相変わらず綺麗。左岸からのハング滝手前の10Mのナメ滝は、高巻きがイヤらしいのでショルダールで直登。左、右と源頭部を進み、営業休止中のキレット小屋直下で遡行終了。

足回りを履き替え、下山。ツルネの上ではコマクサが咲いている。ツルネ東稜の紛らわしい分岐には、今後の為にペナントを追加。下部の笹藪をかき分けながら本谷まで下り、泊場へ帰着。湿った木に手こずりながらも、夕食と歓談。心配された夕立も無く6時過ぎには就寝となる。

### 2日目

出会小屋 (泊地) 4:45～尾根取付き 5:15～尾根上 5:35～ハサミ岩 7:10～大天狗 8:20～大天狗下 9:20 (9:45 発)～主稜線上 10:00～ツルネ 11:00～出会小屋 12:15 (12:40 発)～美しの森駐車場 14:20

爽やかな朝を迎え、本日も天候は良さそう。天狗尾根へと向かう。赤岳沢に入り、左岸からの枝沢を過ぎるが途中、右岸が新しく崩落している。少し行ったところで踏み跡を見つけ、岩峰を越えながらも尾根上の岩稜手前に上がる。冬の幕営地を確認しながら尾根の急登を登る。カニのはさみは、いつもなら左側をトラバースするが、今回は真ん中のガリ一状を1ピッチで越える。次の10Mの岩壁は、冬は左手を巻いたが今回は右手をそのまま進む。30Mの岩壁はセオリ一通り右手をトラバースし、草付きの凹角を登る。いつもなら右手を巻く大天狗は、左手寄りの直登ルートを選択。一段上がった所から、天狗沢への斜

度の強いところをクラックに手を掛けながら登る。1 ピッチではあるが、夏はまだしも条件の厳しい時期では緊張するところだと思う。ちょうどガスが出てきて見通しが効かないが晴れていたら稜線から、大天狗の上の私たちの姿が見えていることだろう。懸垂で降り大休止後、主稜線を昨日と同じツルネ経由で下山。

泊場でパッキング後、水量の少し減った東沢の渡渉を繰り返しながら、美しの森駐車場へ下山。

念願の大天狗直登ルートに登れた人、今後のために沢筋を確認する人、体力不足を痛感した人、最近のうっぷんをタープ泊で気晴らした人。それぞれの思いがあった山行だったと思う。